

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

小牧市長

市町村名 (市町村コード)	小牧市 (232190)
地域名 (地域内農業集落名)	東部地区 (大山地区)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月20日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・担い手の高齢化、農機具の買い替えや農作業の負担により離農が進んでいる。
・篠岡土地改良事業により基盤整備は完了している。
・水稻栽培が主な地域であり、多くを占める水田で担い手による農作業が行われている。
・認定農業者により、耕作が行われている。
・イノシシ等の鳥獣被害が増加していることから、農作物への被害を防除するための取組みが課題である。

(2) 地域における農業の将来の在り方

基盤整備事業が完了しており、大型機械を導入した生産性の高い水田営農を確立していることから、水稻を主要作物とする。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	11.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	11.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心とした農地の集積・集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組方針
大山地域については、篠岡土地改良事業により整備が完了している。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市及び農業協同組合等と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
尾張中央農業協同組合の子会社である有限会社アグリ尾張中央による農作業の受託を行っていく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①市からの補助金を活用した侵入防止柵の設置や地元と協議しながら有効的な場所に檻やわなの設置をし、目撃情報や被害情報があった場合に被害の軽減に努める。